

あ お も り

# 町村 自治

2025 **7** No.1247

令和 7 年

年 4 回 発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会臨時総会	2
令和 8 年度重点施策提案に係る 国会議員説明会	4
人物試験評価者講習	8
いまが旬!	10
エッセイ おいらせ町長 成田 隆 氏	14



## おいらせ森の感謝祭

ちょう  
おいらせ町

7月12日、13日においらせ町下田公園周辺で、「おいらせ森の感謝祭」を開催します。おいらせ町の豊かな自然・食・音楽・芸術をテーマに、町の魅力を体験・交流できる総合イベントです。ステージでのショーやキッチンカー、飲食・フリーマーケットなどの出店のほか、チェーンソーアート大会、木登り、竹灯り作り、郷土料理、自然観察、BBQ、流しそうめんなど、様々な体験コーナーもあり、楽しいイベントが盛りだくさんの2日間となっています。

# 青森県町村会臨時総会

## 会長に濱館中泊町長を選出

副会長は山崎外ヶ浜町長、富岡風間浦村長



就任あいさつをする濱館新会長（左から3人目）



新たな執行体制を決定した臨時総会

本会は6月16日、青森市のホテル青森で臨時総会を開催し、任期満了に伴う役員の変更を行った。  
会長に濱館中泊町長を選出したのははじめ、新たに副会長2名、監事3名を選出し、本会の新たな執行体制が決定した。理事には郡町村会長の充てることとなる。

臨時総会には、会長職務代理者の山田副会長はじめ29町村長（代理含む）が出席した。山田会長職務代理者が議長となり任期満了に伴う役員の変更を行い、会長に濱館豊光

中泊町長、副会長に山崎結子外ヶ浜町長、富岡宏風間浦村長、監事に品川新一田舎館村長、佐藤陽大六戸町長、荒谷憲輝階上町長を選出し、新役員が決定した。任期は令和7年6月19日から2年間。

役員選任後、就任あいさつした濱館新会長は、「30町村の課題解決に向けた取り組みを進め、町村の振興・発展のために最善の努力を尽くしてまいりたい」と述べた。

### 新会長略歴

北津軽郡中泊町長

はま だて とよ みつ  
濱 館 豊 光

平成28年4月 青森県東京事務所長  
平成28年12月 青森県庁 普通退職  
平成29年4月 中泊町長 就任  
(現在に至る)  
令和3年6月 青森県町村会副会長  
(～令和5年6月)

# 新役員紹介

会長

濱舘 豊光  
（中泊町長）



監事

品川 新一  
（田舎館村長）



副会長

山崎 結子  
（外ヶ浜町長）



佐藤 陽大  
（六戸町長）



富岡 宏  
（風間浦村長）



荒谷 憲輝  
（階上町長）



理事

阿部 義治（今別町長）  
相川 正光（鶴田町長）  
山田 年伸（大鰐町長）

長久保耕治（東北町長）  
野崎 尚文（大間町長）  
若宮 佳一（五戸町長）

## 総務厚生・産業経済委員会 を開催

県主要施策の説明を受ける

臨時総会に続き、本会は総務厚生委員会並びに産業経済委員会を開催し、任期満了に伴う正・副委員長の選任を行った。

総務厚生委員会では、委員長に平田博幸藤崎町長、副委員長に久慈修一蓬田村長を再任したほか、新たに成田隆おいらせ町長を副委員長に選任した。

また、産業経済委員会では、委員長に山田年伸大鰐町長、副委員長に相川正光鶴田町長、山本晴美田子町長を新たに選任した。

両委員会では県当局から主要施策等の説明があった。総務厚生委員会では県財務部市町村課の平尾課長、県健康医療福祉部の守川部長、県ども家庭部の若松部長から、産業経済委員会では県農林水産部の栗林次長、県経済産業部

の山口次長、県観光交流推進部の藤森理事からそれぞれ説明があり、続いて意見交換を行った。



県主要施策の説明を受ける総務厚生委員会（右）・産業経済委員会（左）

## 管理者に

### 濱舘中泊町長を選任

総合事務組合議会臨時会

青森県市町村総合事務組合は、政務調査委員会終了後、議会臨時会を開催し、山田管理者職務代理者をはじめ議員等7名が出席した。

臨時会では山田管理者職務代理者が監査委員を選任する議案と6件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり同意並びに承認した。

また、任期満了に伴う正・副管理者選挙を行い、管理者に濱舘中泊町長、副管理者に富岡風間浦村長を新たに選任した。



# 地方創生・人口減少対策・専門人材確保を訴える

## 令和8年度重点施策提案に係る国会議員説明会

### 県・市長会・町村会3団体合同で

本会は、県、市長会と3団体合同により、5月25日、青森市のホテル青森で令和8年度重点施策提案に係る国会議員説明会を開催した。

本会からは山田会長職務代理者をはじめ役員町村長が出席し、県選出国会議員に対し、町村財政基盤の確立や地方創生・人口減少対策に向けた支援など6項目の重点施策を説明し、実現へ協力を求めた。

会場には県選出国会議員の津島淳衆議院議員、神田潤一衆議院議員、岡田華子衆議院議員、升田世喜男衆議院議員、佐原若子衆議院議員、田名部匡代参議院議員が出席したほか、代理として国会議員秘書が出席した。

また、本会からは山田会長職務代理者、山本副会長をはじめ役員町村長11人、県からは宮下知事のほか小谷副知事、奥田副知事、風張教育長、県市長会からは西会長（青森市長）ほか各市から市長や副市長など、約70人が出席した。



本会の提言を説明する山田会長職務代理者

説明会では、宮下知事が主催者を代表し「本県が現在抱える課題、来年度以降、先々の見通しに係る提案などについて率直に意見交換できればと思う」とあいさつで述べ、引き続き県、市長会、本会がそれぞれ重点施策を説明し、その後、意見交換を行った。

本会からは山田会長職務代理者が重点施策を説明した。「医療・保健・福祉・子育て支援施策の強力な推進」の項目では、「保健師等の人材確保が難しい状況を受けて昨年度設置した『町村の専門人材の確保に関する連絡会議』で対応方向を検討した結果、今年度からインターンシップに

## 本会重点施策の説明項目

1. 町村財政基盤の確立について（3団体共通要望項目）
2. 地方創生・人口減少対策に向けた支援について（3団体共通要望項目）
3. 医療・保健・福祉・子育て支援施策の強力な推進について
4. 農林水産業の振興について
5. 社会基盤の整備促進について
6. 持続可能な地域公共交通の維持・確保について

参加する学生に対して支援を行う」と説明したうえで、地域福祉・医療等の専門人材の確保・育成、離職防止・定着促進等の総合的な対策を出席の国会議員に求めた。

県からは宮下知事が少子化対策・子育て支援の充実など12項目、市長会からは西会長が雪対策への支援など12項目の重点施策を説明した。



開会あいさつする宮下知事



富樫総務副大臣（中央右）



古川国土交通副大臣（右から3人目）

## 関係省庁等に 重点施策提案活動

本会は、県、市長会と3団体合同により5月28日、東京都内で、自由民主党をはじめ内閣官房・内閣府、こども家庭庁、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省に対し、令和8年度の重点施策提案を行った。

本会からは山田会長職務代理者が出席し、富樫総務副大臣、古川国土交通副大臣ほか

関係省庁幹部に面談のうえ、本県の実情を強く訴え施策の実現を求めた。

また、国土交通省では山田会長職務代理者が「地方鉄道がこれまで果たしてきた多面的な役割を引き続き堅持できるように支援を求めると述べ、古川副大臣からは「鉄道の確保もしっかりとやっていく」という発言があった。

# 町村長選挙結果

外ヶ浜町長

山崎 やまざき

結子 ゆいこ 氏



任期満了に伴う外ヶ浜町長選挙は、4月13日、投票が行われ、現職の山崎結子氏(44)が3選を果たしました。  
(略歴) 会社員

中泊町長

濱館 はまたで

豊光 とよみつ 氏



任期満了に伴う中泊町長選挙は、4月8日、告示され、現職の濱館豊光氏(65)が無投票で3選を果たしました。  
(略歴) 県東京事務所長、県総務部参事・秘書課長

七戸町長

田嶋 たしま

邦貴 くにたか 氏



任期満了に伴う七戸町長選挙は、4月20日、投票が行われ、新人の田嶋邦貴氏(63)が初当選を果たしました。  
(略歴) 町総務課長

## 青森県町村長等名簿

令和7年7月1日現在  
町村数30町村(22町8村)

町村	区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24.7.17	4	R9.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25.9.18	2	R8.7.23	飯田哲
	外ヶ浜町	山崎結子	S56.6.21	3	R11.4.23	松橋稔
	蓬田村	久慈修一	S25.8.1	3	R7.11.8	小松生佳
西郡	鯉ヶ沢町	平田衛	S34.11.1	2	R7.12.26	加藤隆之
	深浦町	平沢一臣	S49.9.21	1	R10.12.20	佐藤洋一
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32.1.11	2	R11.2.20	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32.6.2	4	R9.11.19	三上孝之
	大鰐町	山田年伸	S27.3.11	4	R8.7.21	
	田舎館村	品川新一	S27.2.21	1	R10.11.17	金枝尚明
北郡	板柳町	葛西健人	S34.7.18	1	R9.4.29	長内伸夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	3	R8.8.20	
	中泊町	濱館豊光	S34.10.3	3	R11.4.23	三上晃瑠
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38.4.15	2	R9.10.26	江刺家和夫
	七戸町	田嶋邦貴	S36.7.29	1	R11.4.23	仁和圭昭
	六戸町	佐藤陽大	S48.11.4	1	R10.1.27	円子富浩
	横浜町	石橋勝大	S16.9.27	2	R10.12.11	菊池義規
	東北町	長久保耕治	S47.11.14	2	R11.4.23	沼尾啓吉
	おいらせ町	成田隆衛	S26.2.4	3	R8.3.25	小向仁生
	六ヶ所村	戸田衛	S22.1.28	3	R8.7.6	橋本晋
下北郡	大間町	野崎尚文	S30.11.17	2	R11.1.18	
	東通村	畑中稔朗	S37.7.14	2	R11.4.12	
	風間浦村	富岡宏樹	S37.4.27	3	R11.2.18	
	佐井村	太田直樹	S50.7.14	1	R8.4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	沼澤修二	S42.4.25	1	R10.11.16	本宿貴一
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	2	R9.6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39.4.10	4	R10.1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30.5.22	7	R8.2.11	佐々木俊昭
	階上町	荒谷憲輝	S45.4.24	1	R7.12.23	澤田充
	新郷村	佐藤和友	S43.9.18	1	R11.5.28	

# 東北町長 長久保耕治 氏



任期満了に伴う東北町長選挙は、4月13日、投票票が行われ、現職の長久保耕治氏(52)が再選を果たしました。  
(略歴) 町議会議員

# 新郷村長 佐藤和友 氏



任期満了に伴う新郷村長選挙は、5月18日、投票票が行われ、新人の佐藤和友氏(56)が初当選を果たしました。  
(略歴) 村議会議員

## 国への重点施策提案 事項等を決定

### 役員合同会議

本会は5月20日、青森市の共同ビルで正副会長・理事・監事・政務調査委員長・顧問合同会議を開催した。出席者は、山田会長職務代理者はじめ役員町村長11人。  
会議では、本会就業規程の一部を改正する規程案、6月18日に任期満了を迎える本会

役員の選任、5月25日に県、市長会と3団体合同により実施する令和8年度重点施策提案に係る国会議員説明会等での本会からの提案事項を協議し、原案どおり承認、決定した。議事及び協議事項は次のとおり。  
議事  
○議案第1号 青森県町村会就業規程の一部を改正する規程案

### 協議事項

- 協議事項1 本会役員を選任について(本紙2頁参照)
- 協議事項2 令和8年度重点施策提案に係る国会議員説明会等について(本会からの提案項目を次のとおり決定した)。
- ◎令和8年度政府予算編成及び施策に関する提案
- 1 町村財政基盤の確立について(3団体共通要望項目)
- 2 地方創生・人口減少対策に向けた支援について(3団体共通要望項目)
- 3 医療・保健・福祉・子育て支援施策の強力な推進について
- (1) 地域医療の確保・充実について
- (2) 総合的な子育て支援について
- 4 農林水産業の振興について
- 5 社会基盤の整備促進について
- (1) 防災・減災対策等の強化について
- (2) 道路の整備等について
- (3) 治水対策について
- 6 持続可能な地域公共交通の維持・確保について

## 本会に事務局を置く各団体役員名簿

(令和7年7月1日現在)

### 青森県広報広聴協議会 (会員数11県・40市町村)

#### 会長

濱館 豊光(中泊町長)

#### 副会長

西 秀記(青森市長)

#### 理事

澤 純(県総務部長)

- 櫻田 宏(弘前市長)
- 熊谷 雄一(八戸市長)
- 高樋 憲(黒石市長)
- 佐々木 孝昌(五所川原市長)
- 櫻田 百合子(十和田市長)
- 山本 知也(むつ市長)
- 倉光 弘昭(つがる市長)
- 長尾 忠行(平川市長)
- 阿部 義治(今別町長)
- 相川 正光(鶴田町長)
- 山田 年伸(大鰐町長)
- 長久保 耕治(東北町長)
- 野崎 尚文(大間町長)
- 若宮 佳一(五戸町長)

### 全国山村過疎地域振興 連盟青森県支部 (会員数1132市町村)

#### 支部長

山田 年伸(大鰐町長)

#### 副支部長

(過疎地域対策部会長兼任)  
久慈 修一(蓬田町長)

(山村振興部会長兼任)  
船橋 茂久(平内町長)

#### 理事

- 佐々木 孝昌(五所川原市長)
- 長尾 忠行(平川市長)
- 桑田 豊昭(西目屋村長)
- 葛西 健人(板柳町長)
- 濱館 豊光(中泊町長)
- 石橋 勝大(横浜町長)
- 富岡 宏(風間浦村長)
- 太田 直樹(佐井村長)
- 沼澤 修二(三戸町長)
- 工藤 祐直(南部町長)

### 発電関係市町村全国 協議会青森県支部 (会員数118市町村)

#### 支部長

平田 衛(鯉ヶ沢町長)

#### 副支部長

欠 員

### 青森県町村会内部団体 協議会 共通 監事

- 小檜山 吉紀(三沢市長)
- 相川 正光(鶴田町長)
- 富岡 宏(風間浦村長)

# 効果的な面接試験とは

## 人物試験評価者講習

本会は市長会との共催により、6月30日、青森市のホテル青森で人物試験評価者講習を開催した。出席者は市町村の人事担当管理職員等24人。研修会では本会の檜山常務理事のあいさつ後、公益財団法人日本人事試験研究センター事務局参与の鈴木利男氏が講師を務めた。鈴木氏は、面接試験の特徴や問題点を確認したうえで、質問や評価技法の向上をテーマに講義を行った。特に近年、受験生はAIを活用し面接試験の事前準備をしつかりと行っていることから、受験生自身の経験



参加者の意見を聞く鈴木氏

を引き出すための質問方法について、鈴木講師の経験を基に説明があった。研修会では、映像教材を用い、問題のある面接官の事例確認や、受験生の評定練習を行った。また、受験生をグループに分けて意見交換や模擬面接を実施した。研修後のアンケートでは、「基本的な取組方から実践的な内容まで、分かりやすく解説いただいた」「基本質問のキーワードを知ることができた」「コンピテンシーを意識した質問展開が重要だと知ることができた」との声が寄せられた。

### より効果的な

### 採用試験を

### 実施するために

### 採用試験担当者

### 実務セミナー

本会は市長会、公益財団法人日本人事試験研究センターとの三団体共催により、5月13日、令和7年度採用試験担

## 各共済事業に理解と協力を

### 災害共済事業等事務研修打合会

本会は6月13日、青森市のウェディングプラザアラスカで災害共済事業等事務研修打合会を開催した。出席者は市町村及び一部事務組合等の事務担当者約70人。打合会は、新年度を迎え、各団体の担当者が異動となること等を踏まえて、共済事業の担当者に各共済事業への理解を深めてもらうことを目的に例年開催しているもの。打合会では、任意共済事業及び個人年金共済事業の幹事会社である日本生命保険相互



自動車事故処理を説明する(株)ジック調査員の田村氏

会社より両事業の概要について説明があった。また、総合

当者実務セミナーをオンラインで開催した。出席者は市町村等の職員採用試験実務担当者計49人。本セミナーでは、日本人事試験研究センター事業部及び研究開発本部から次の研修内容についてそれぞれ解説があった。

#### 【研修内容】

・日本人事試験研究センター提供の試験・検査について  
事業部 佐久間 宏太 氏

・採点結果表の考え方・見え方について  
研究開発本部 主任研究員 飯野 義寿 氏  
田中 雄治 氏  
・面接試験における性格検査の活用方法について  
研究開発本部 主任研究員 武田 陽子 氏  
・大学3年生からの受験について  
業務執行理事(兼) 研究開発本部長 渡邊 直一 氏

賠償補償保険及び災害対策費用保険など、概要動画を視聴した。

引き続き、本会事務局からは自治協会、町村生協の各共済事業の概要をはじめ、自動車事故処理並びに共済金請求の際の事務手続き等について説明したほか、自動車共済専属調査員事務所である株式会社ジックの専属調査員からは、自動車事故時の対応について説明があった。

また会議では、令和6年度に引き続き行う、生協火災・自動車共済の新規加入キャンペーンについて、担当者に協力を呼びかけた。

# 読まれる広報誌について

## 可読性から考える

### 広報広聴担当者研修会

本会に事務局を置く県広報広聴協議会は、例年、市長会、本会との共催により、市町村の広報広聴担当職員としての知識及び技術の向上を図ることを目的に、広報広聴担当者研修会を開催している。

本年度は、6月23日、青森市のアップルパレス青森で開催し、出席者は市町村の広報広聴担当者42人。

### ■広報コンクール入賞団体を表彰

研修に先立ち、令和7年県広報コンクール表彰式を行い、各部門で優秀な成績を修めた団体に対し表彰状を授与した。なお例年、県広報コンクールの優秀作品を全国広報コンクール（公益社団法人日本広報協会主催）へ推薦しており、本年は、鶴田町の「ツル多はげます会」の交通安全活動の場面を収めた写真が広報写真一枚写真部で読売新聞社賞を

受賞。また、青森市の八甲田丸の歴史や港の賑わいを伝えた映像が映像部門で入選している。

### ■県広報広聴課「自分ごと」にさせる情報発信

引き続き、県広報広聴課工藤総括主幹が登壇。全国広報コンクール広報紙部門（都道府県・政令都市部）で入選2席（全国3位）となった「AOMORI MAG」のリアルポイントや今年運用を開始した県公式LINEなど、見せ方や言い回しを工夫することで県民に「自分ごと」と受け止めてもらうための工夫について説明があった。

### ■読まれる広報誌づくりとは

研修では、時事通信社解説委員であり時事通信ブランドスタジオ代表取締役社長の武部隆氏が「『読まれる』広報誌づくりのポイント〜見やすいレイアウト、分かりやすい

言葉で伝えるには〜」と題し、講演した。

武部氏は、新聞記者や商業誌を発行してきた経験を踏まえ、広報誌の役割を解説。納税者への説明責任を果たすためにもひとりも取り残さない可読性のよい広報誌を作成する必要があると述べたうえで、レイアウトや配色、フォントの選び方について講義を行った。また、分かりやすい文書の書き方についても例を示して説明した。

研修後のアンケートでは、「配色に配慮した広報誌づくりの話が特に勉強になった」「レイアウトや文章を作成する時は、必ず読み手のことを考えて作成することが改めて重要と感じた」との回答があった。



広報誌づくりのポイントを解説する武部氏

## 全国広報コンクール 一枚写真部での受賞を受けて

鶴田町役場 企画交流課計画係主事 笹森 弾



全国広報コンクール 一枚写真部  
入選・読売新聞社賞受賞「広報つるた（令和6年5月号）」

この度の全国広報コンクール一枚写真部において、多数の応募があった中で入選と読売新聞社賞を受賞することができ、大変うれしく思っております。

受賞した写真は町のNPO法人「ツル多はげます会」が毎年行っている交通安全運動の様子です。私が広報担当になってからコロナ禍の影響で開催されておらず、このイベントを取材するのはこのときが初めてでした。撮影の際は過去の担当が撮影した写真は

参考に子どもたちと会員の両方の顔が収められる構図を事前に考えて撮影に挑み、最高の一瞬を切り取れたと思います。

子どもたちと会員の笑顔が非常に良く、鶴田町のユニークさや雰囲気の良いさを町民や読者の方に伝えたいという思いで掲載しました。

今後も町民が主役の、毎号楽しみにしてもらえたい広報誌を目指して、取り組んでいきたいと思っております。



問い合わせ先 外ヶ浜町役場 企画政策課  
TEL 0174-31-1214

8月3日(日)、蟹田漁港において「港まつり」が開催されます。「港まつり」には、町内外の物販・グルメブースや棒パン焼きなどの親子で楽しめる体験ブースが設置されます。ステージでは、地元子どもたちによるパフォーマンスのほか、来場者も参加できるデカ盛りチャレンジが実施される予定です。

ぜひこの夏は外ヶ浜町「港まつり」にお越しください。

外ヶ浜町の海の幸が味わえる！港まつり

いまが旬!  
そこがほまじや  
外ヶ浜町

東津軽郡



問い合わせ先 津軽白神ツアー  
TEL 0172-85-3315

道の駅津軽白神インフォメーションセンターを出発し大自然の中をドライブした後は、津軽白神湖へスプラッシュイン！白神の清風を浴びながら、湖上から四季折々の景色を楽しむことができます。

運行期間 4月下旬から10月下旬まで。

水陸両用バス  
ニシメヤダムレイクツアー

いまが旬!  
にしめやむら  
西目屋村

中津軽郡



問い合わせ先 田舎館村埋蔵文化財センター・博物館  
TEL 0172-43-8555

国史跡に指定されている「垂柳遺跡」の出土品を展示している田舎館村埋蔵文化財センターは、4月末に展示内容をリニューアルしました。

近年の研究成果を盛り込んだ内容のほか、土器の種類も増やし、その数なんと500点以上！そのほか、触れられる土器や、2100年前の当時の田んぼそのものを間近で見ることができる露出展示もあります。

夏休みの研究にぜひお越しください！

弥生時代に  
田イムリープ！

いまが旬!  
いなかだてむら  
田舎館村

南津軽郡



問い合わせ先 七戸町役場 商工観光課  
TEL 0176-62-2137

しちのへ秋まつりは、毎年9月に行われる歴史あるおまつりです。豪華な飾り付けを施した勇壮な山車が町を練り歩き、笛や太鼓の音色が響き渡ります。山車が向かい合い、太鼓を力強く叩く喧嘩太鼓もまつりを華やかに彩り、周辺一帯が熱気に包まれます。豊穡の秋に七戸の活気と伝統を感じられるおまつりです。

太鼓響きわたる  
しちのへ秋まつり

いまが旬!  
しちのへまじや  
七戸町

上北郡

いま旬!

佐井村

下北郡

今なら3種飲み比べ可能!  
佐井村クラフトビール

佐井村産ホップを使用したクラフトビール全3種がいま揃って発売中です。

ラベルがリニューアルされた黒ビール商品「福浦の歌舞伎 NUIDOU」は、リニューアルに合わせて村外にも販売を拡大。あおい環オンラインショップでは、期間限定で3本セットを取り扱っています。

あつい夏、ビールが飲みたい季節…この機会にぜひ、ご賞味ください!



問い合わせ先 佐井村役場 総合戦略課  
TEL 0175-38-2111

いま旬!

五戸町

三戸郡

五戸自慢の逸品を大切な方へ  
五戸のお中元2025

五戸町特産品ギフト「五戸のお中元」を6月14日～7月31日まで販売します。五戸名物の馬肉や青森シャモロックを使用したハンバーグのセットや、紅玉を使用したアップルパイなどが詰まったりんごづくしセット、また青森県産米のセットなどバラエティに富んだ内容となっています。オンラインショップからもご購入いただけます。



問い合わせ先 五戸町観光協会  
TEL 0178-62-7155

いま旬!

田子町

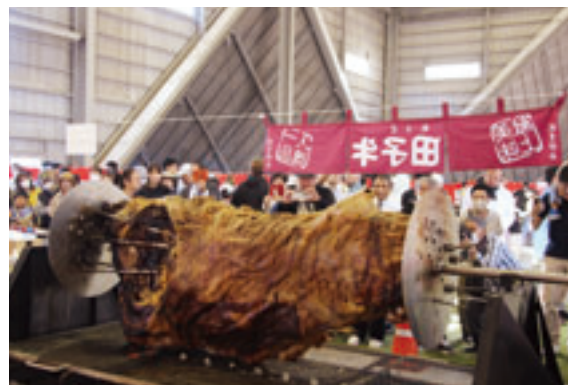
三戸郡

第40回  
にんにくとべごまつり

にんにくとべごまつりは、田子町の特産品「たっこにんにく」と「田子牛」を存分に味わうことのできるイベントです。特に「田子牛の丸焼き」は迫力満点で、見ても食べても楽しめるものとなっています。

今年は、記念すべき40回目の開催となりますので、お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

- 日時 10月4日(土)・5日(日)
- 場所 創遊村229スキーランド



問い合わせ先 にんにくとべごまつり実行委員会  
(田子町役場商工振興課内)  
TEL 0179-32-3111

いま旬!

階上町

三戸郡

ハマの夏を彩る  
はしか  
みいちご煮祭りの開催!

県南の郷土料理「いちご煮」をメインとした町最大イベント「はしかみいちご煮祭り」が開催されます!

いちご煮とは、ウニとアワビを贅沢に潮汁に仕立てた絶品料理。乳白色スープに沈むウニが朝もやに霞む野いちごに似ていることからそう呼ばれるように。

名物のいちご煮をはじめ、新鮮な海産物のご提供や町内小学校などによる郷土芸能発表も行われますので、ぜひ階上町へ!

- 日時: 7月19日(土)10:00~17:30(マリンフェスタ花火大会19:30~)
- 7月20日(日)10:00~16:00
- 場所: 小舟渡海岸



問い合わせ先 階上町役場 産業振興課  
水産商工観光グループ  
TEL 0178-88-2875

青森県内の

ま

ち

と

む

ら

# 保健師インターンシップ 参加募集・支援のお知らせ

18町村でインターンシップ受入可能！

＼こんな方におすすめ／

地域の仕事に  
興味がある

職業体験  
してみたい

保健師の  
仕事が  
気になる

## 【支援内容】

県内町村へ保健師として就職することを検討している学生がインターンシップ参加のために要した交通費及び宿泊費を支援します。

対象 象：県内町村へ保健師として就職することを検討する、  
県内看護系大学の看護学科に在籍する学生

対象経費：県内町村で実施される保健師インターンシップ  
参加のために要した交通費及び宿泊費

金 額：本会旅費規程に基づく

## 【問い合わせ先】

青森県町村会 業務共済課 TEL:017-723-1331

E-mail:ack-2@aomori-chousonkai.jp

ホームページ：<http://www.aomori-chousonkai.jp>



# 町村生協の自動車共済

新規加入  
キャンペーン実施中!

キャンペーン期間：  
令和7年8月29日まで

共済契約自動車の事故により被共済者が法律上の賠償責任を負った場合に、対人賠償共済金、対物賠償共済金を支払う制度です。自損事故傷害共済、無共済等自動車傷害共済、限定搭乗者傷害共済、他車運転特約(自動二輪車・原動機付自転車を除く)、臨時費用の制度が自動付帯されています。



組合員のニーズに合った選択ができるよう以下のとおりA型とB型の2類型となっています。

## ■ A 型 掛金(年額)3万円で最高

[自家用普通・小型乗用車]

- 対人賠償 —— 無制限の補償  
対人賠償共済(1名につき)
- 対物賠償 —— 1000万円の補償  
対物賠償共済(1事故につき)
- 自損事故傷害 —— 1500万円の補償  
自損事故傷害共済(1名につき)
- 限定搭乗者傷害 —— 500万円の補償  
限定搭乗者傷害共済(1名につき)

## ■ B 型 掛金(年額)3万3000円で最高

[自家用普通・小型乗用車]

- 対人賠償 —— 無制限の補償  
対人賠償共済(1名につき)
- 対物賠償 —— 無制限の補償  
対物賠償共済(1事故につき)
- 自損事故傷害 —— 1500万円の補償  
自損事故傷害共済(1名につき)
- 限定搭乗者傷害 —— 1000万円の補償  
限定搭乗者傷害共済(1名につき)

# 車両共済(保険)のご案内 (一般自動車保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

## 町村生協の自動車共済にご加入の皆さまなら!

●無事故による割引で新規から **44%(保険料)割引**

・ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。

●集団扱年一括払による割引でさらに **5%割引**

保険料分割払(12回)も選択可能です。  
・保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。

このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

### 株式会社 千里 (取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●ホームページアドレス <https://www.chisato-ag.co.jp/>

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

(受付時間：祝日、年末年始を除く月～金 午前9時30分～午後5時)

TEL **0120-731-087**  
FAX **03-3519-7325**

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン株式会社とが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

〈車両保険引受保険会社〉損害保険ジャパン株式会社

# 変化し続ける町 — 停滞は後退、変化は成長 — おいらせ町



ゆったりと流れる奥入瀬川と大空に映える八甲田連峰

おいらせ町は、太平洋に面した旧百石町と、内陸の旧下田町の2町が合併して誕生した町です。

町の南側には、町名の由来となった奥入瀬川が流れており、神明橋、幸橋、幸運橋、開運橋など、町内に架かる縁起の良い名称がついた橋からは、奥入瀬川の清流と、緑の平野、八甲田連峰など自然豊かな風景が見られます。

町の行政面積は、71・96平方メートルとコンパクトな町ですが、県南地方の主要都市（八戸市、十和田市、三沢市）

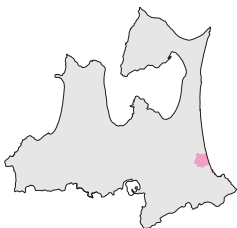
の中間に位置しているため、高速道路のICが2カ所あり、新幹線、フェリー、空港にも30分圏内で行ける利便性の高い町です。

その恵まれたベッドタウン的要素から、町誕生以降、人口増加を維持し、県内の町村では最多の人口を擁します。

町の人口が増えた大きな要因として、大型ショッピングセンターの誘致による波及効果が大きいと考えられます。

今から30年前のことです。平成7年（1995）4月、下田町議会議員に初当選した時と同時期に、ジャスコ（現イオンモール下田）を誘致しました。

第二みちのく有料道路の下



## おいらせ町長

たかし 隆  
なり た 成田



青森県の東南部に位置する町で、夏にはヤマセと呼ばれる太平洋からの冷涼な風が吹き、冬は気温が低いものの県内でも積雪量が少ない地域です。

奥入瀬川の河口と太平洋を望む漁場では、毎年12月から3月までホッキ貝漁が行われ、栄養豊富な奥入瀬川の恩恵を受けたホッキ貝は冬の味覚として親しまれています。



平成19年頃のおいらせ町（ジャスコ付近）

田・百石ICを玄関口とするジャスコの開店により、県内をはじめ、岩手県北からも多くの方が当町を訪れるようになり、国道沿いには、商業施設が形成され、周辺には住宅やアパートも増加しました。

また、工業、商業等が盛んになり、第一次産業から第三次産業まで、バランスのとれた産業振興地域へと変化しております。

住民ニーズも多様化し、町独自の子育て支援制度として、小中学生の給食費無償化、高校生までの医療費無料化、放課後児童クラブの利用料無料化、保育料の軽減等、若い世代が安心して、結婚・出産・子育てができる環境づくりに力を入れてまいりました。

そのほか、定住促進対象地域を限定した「子育て世代定住助成金」の創設などの取り組みが着実に進んだことにより、合計特殊出生率（2018～2022年）の県内最高位や、街の幸福度ランキング2023東北版での1位という結果につながったのではないかと思います。

来年3月、おいらせ町誕生から20周年を迎えます。現在、町では、イオンモール下田の西側近接地を建設予定地に、令和14年（2032）の開庁を目指して、新庁舎の建設、病院の移転計画を進めているところなんです。

私が考える「ふるさとを殖すための鍵」は、【変化】だと思います。

縁あって町政に携わるようになり30年、おいらせ町が生きて20年。この町の変化を身近に感じながら、職務に取り組んでまいりました。

これからの新庁舎等建設を機に、さらに町は変化していくことでしょう。

おいらせ町は、まだまだ発展の可能性を秘めた町だと思っています。